

## 遊休農地にいかがですか



農地を耕作せずに放置しておくと...

- ❖ 景観を損ねる
- ❖ 病虫害の発生源になる
- ❖ 雨水を貯めるダム機能が失われる

農地はできるだけ活用しましょう！



オーストラリア原産のユーカリはコアラのエサとして有名。小さめの葉は銀色がかった緑色でアンティークな雰囲気醸す観葉植物として人気で、ドライフラワーやフラワーアレンジメントの素材として飲食店や結婚式会場などに飾られることが多く、近年、需要が大きく伸びてきています。

中山間地等の遊休農地化した作付け条件が不利な農地を活用した品目として、ユーカリの作付けをご紹介します。

中山間地向け

ユーカリ



ユーカリは、基本的には排水性と日当たりの良い、管理しやすいほ場での栽培が適していますが、水利条件が悪いほ場(水が入らない)や不整形で作業性が低いほ場等、作付け条件の不利な農地を活用でき、獣害を受けにくく、収穫物が軽く扱いやすい上に、収穫期が10～12月で水稻作業と競合しない等の特徴があります。

滋賀県では業務需要に対応した花きの生産を市場等の実需者と連携して推進しており、組花加工向けの短茎小菊・リンドウに加え、令和2年度からグリーン(葉物)素材として需要の高いユーカリの生産に取り組まれています。

栽培スケジュールは、3～4月に播種・育苗、5～6月に定植、1年目は株養成し、2年目の10月から収穫します。生育が旺盛で高く伸びる性質がありますが、冬(収穫後)に幹を1m以下に剪定して仕立て直すので、年間を通して2メートルほどの高さに収まり手の届く範囲で作業できます。



ご興味のある方は レーク滋賀農業協同組合北宮農経済センター(電話 077-572-1158)まで



ミツバチ支援

蜜源作物

遊休農地解消の取組みとして、蜜源植栽の拡大を検討している市内の養蜂業者から、蜜源の植栽場所とミツバチの巣箱の設置場所としての活用相談がありました。

蜜源となる植物の栽培により、遊休農地の解消や発生防止、地域の良好な景観形成等に繋がるとともに、蜜源植物の減少に悩んでいる養蜂農家の支援にもつながります。

ご興味のある方は 農業委員会事務局(電話 077-528-2680)まで ※巣箱の設置場所には条件があります

